



2023年3月1日

日本鉄道労働組合連合会

## JR連合「国会議員懇談会」所属議員が通常国会で質問！

1月23日に召集された今次通常国会では、「再構築協議会」という新たな枠組みの創設をめざした「地域公共交通活性化再生法」（地活法）改正案の審議が行われる予定であり、序盤より公共交通・鉄道に関する議論が活発に行われている。こうした中、JR連合国会議員懇談会の伴野豊副会長（衆議院議員）と伊藤孝恵幹事（参議院議員）がそれぞれ質問を行った。JR連合は同懇談会や「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」等との連携を強化し、政策実現に向けて取り組んでいく。

### 伴野副会長が岸田首相へリニアに関する質問を行う

伴野副会長は2月1日、予算委員会に出席し、リニア中央新幹線計画の静岡県における課題に触れ、「総理がリーダーシップを発揮し、関係者の力をまとめて欲しい」「民間企業が建設主体ではあるものの、助けていただけたところは助けていただきながら前へ進めて欲しい」旨を強く訴えた。答弁に立った岸田文雄首相は、同計画について、「国家的なプロジェクトであり、岸田政権としてもデジタル田園都市国家構想の中で重要なものとして位置づけている」とし、そして‘東海道新幹線の静岡県内駅の停車頻度の調査’についても触れつつ、「これを進めることで地元の方のご理解をいただくよう努力する」と述べた。さらに、「関係者の皆さんに説明をしながら、全体としてのプロジェクトの前進につなげるべく、私自身、先頭に立って努力したい」とリーダーシップを発揮する姿勢を示した。



立憲民主党・無所属  
伴野 豊

### 伊藤幹事が“再構築協議会”の課題等について質問



伊藤幹事は2月15日、参議院「国民生活・経済及び地方に関する調査会」において、地活法・改正案の審議を見据え、交通経済学の権威である宇都宮浄人関西大学教授に同案の課題について質問した。

伊藤幹事はまず、創設予定の「再構築協議会」に触れ、「再構築協議会においては、行政縦割りではない、総合的な政策を議論しなければならない。ポリシーミックスを担保するために必要なのは何か」と問うた。宇都宮教授は、「国土交通省がやろうとしていることの方針は正しい」としたうえで、再構築協議会に入る路線について、「運輸事業としての収支改善・生産性向上が求められ、コスト削減→サービス悪化といった議論に陥ることを懸念している。そこをチェックすると良い」旨を答弁した。続いて再構築協議会の対象外となる線区における議論や、クロスセクター効果の検証の必要性についても言及したところ、宇都宮教授は、「2千人を超える線区での協議も必要だ。今よりサービスレベルの向上を図ることで、潜在需要を掘り起こす可能性もある」旨述べたうえで、「交通は一自治体だけではなく、人流を考慮し広域での議論が必要だ」と指摘した。さらに議論の深度化に向けては、「欧州のように交通の専門性を持った人達が広域の交通を専任的に管理する仕組みが必要」である旨答弁した。



宇都宮 浄人